

計画策定時に現状値等が未把握の 5 指標について (計画書P41～P42)

指標	現状値	目標値	備考	計画書該当ページ
6 「人と比較して食べる速度が速い人の割合」	男性：46.8% 女性：35.3%	男性：38.5% 女性：29.9%	令和6年度会議で決定	P25
1 1 「地域等で共食している人の割合」	令和6年1 1 月把握	本会議で決定	令和5年度国民健康・栄養調査を参考とする	P27
1 8 「栄養教諭等と連携して食に関する指導を実施している小・中学校の数（割合）」	令和5年度 小学校：97% 中学校：81% 特別支援学校：100%	増加	令和6年度会議で共有	P32
2 6 「学校給食で郷土料理や伝統料理を月に1回以上提供する市町村の数」	令和6年3月 20/39市町村	増加	令和6年度会議で共有	P35
3 5 「災害時の非常用食料等を備蓄している人の割合」	令和7年度なら健康長寿基礎調査で把握予定	R8年度設定	現時点で未把握	P40

3 5 災害時の非常用食料等を備蓄している人の割合

令和7年度なら健康長寿基礎調査での質問項目案について

問5. あなたの世帯は災害時に備えて非常用の食料を用意していますか。

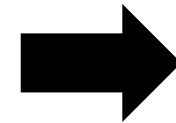
1. あり 2. いいえ

「1. あり」と答えた方にお聞きます。

問5-1. 非常用の食料は、世帯人数分として何日分を想定して用意していますか。
日数を右づめで記入してください。

--	--

日分



アンケート結果をもとに令和8年度
食育推進会議で、令和11年度目標
値を設定します

参考：令和元年度国民健康・栄養調査から

問22 あなたの世帯は災害時に備えて非常用の食料を用意していますか。
あてはまる番号を1つ選んで○印をつけて下さい。

1 あり 2 いいえ

(問22-1) 非常用の食料は、世帯人数分として何日分を想定して用意していますか。日数を右づめで記入して下さい。

--	--

日分

7. 非常用食料の用意の状況

災害時に備えて非常用食料を用意している世帯の割合は、53.8%であり、地域ブロック別に見ると、関東Ⅰブロックが72.3%と最も高く、南九州ブロックが33.1%と最も低い。

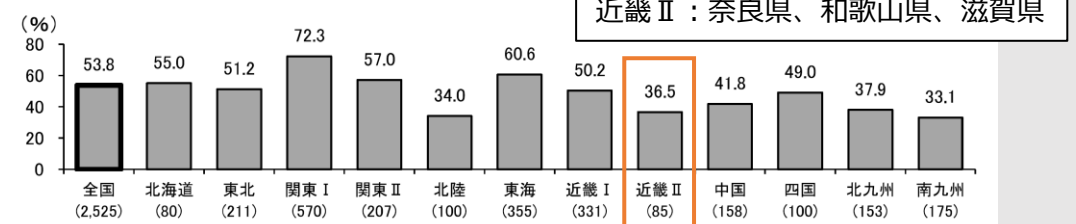
非常用食料を用意している世帯のうち、3日以上非常用食料を用意している世帯は69.9%である。

用意している非常用食料の種類は、主食が80.0%、副食が79.0%、飲料が90.3%である。

図15 災害時に備えて非常用食料を用意している世帯の割合(20歳以上、地域ブロック別)

問: あなたの世帯は災害時に備えて非常用の食料を用意していますか。

※世帯の代表者(非常食の用意を担当している者)が回答。



1 1 地域等で共食している人の割合

令和6年度奈良県食育推進会議で共有した現状値

基本方針1 健康寿命の延伸にむけた食育

(2) 高齢者の健康づくり③フレイル・低栄養予防の推進

現状値：67.3% (令和6年度食育推進会議資料)

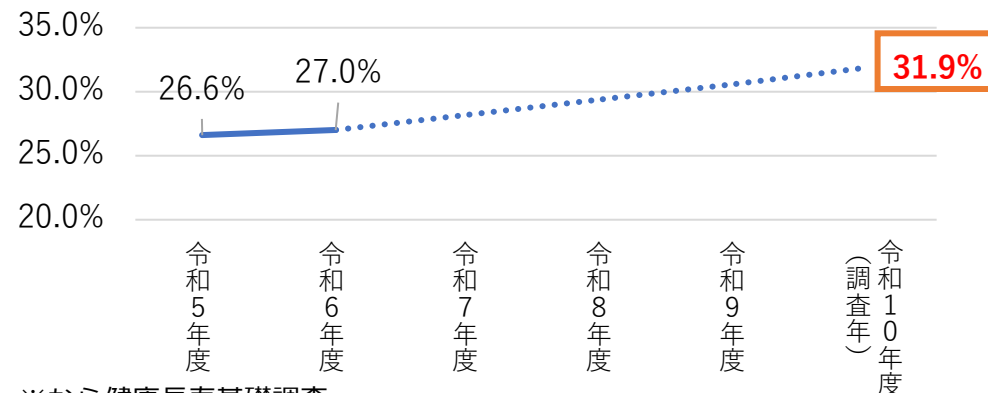
◆評価指標

評価指標	現状値	目標値 (R11)	把握方法	目標値の考え方
地域等で共食している人の割合	R6年 3月把握	R6年度 設定	なら健康長寿基礎 調査 ※1	(参考)健康日本2 1(第三次)の目標 値30%(R14)

※1なら健康長寿基礎調査の問4「あなたは、お住まいの地域（職場・学校を除く）において誰かと一緒に食事をするのはどのくらいありますか。」「1. 週1回程度」「2. 月1回程度」「3. 3か月に1回程度」「4. 6か月に1回程度」「5. 年に1回程度」「6. ほとんどない」のうち、

(ア) 地域の人 (イ) 友人・知人 のいずれかで「1. 週1回程度」～「5. 年に1回程度」を選んだ人の割合

国の目標達成に向けた改善計画：1.22ポイント/年（令和14年度まで）
→奈良県では4.9ポイント（ $\div 1.22 \times 4$ ）/4年 の増加を目標とする



※なら健康長寿基礎調査

健康日本21（第三次）の指標

令和5年度国民健康・栄養調査
健康日本21（第三次）

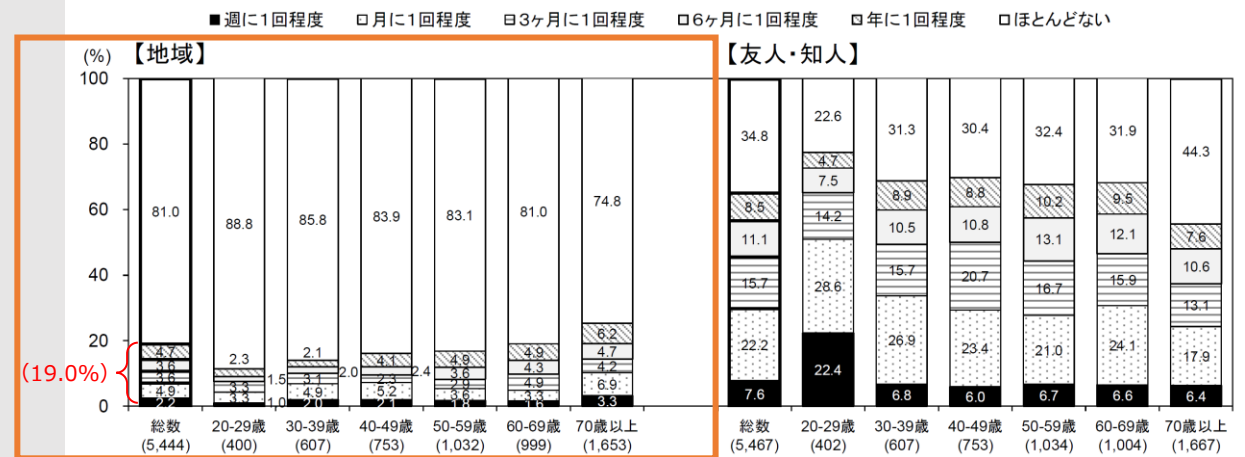
現状値：19.0%

目標値：30.0% (令和14年度)

健康日本21（第三次）では、「地域等で共食している者の割合」を「地域」での共食頻度が「年1回以上」と回答した者の割合としている

図22 地域における共食の頻度（20歳以上、男女計・年齢階級別）

問：ここ1年間の様子についておたずねします。あなたは、お住まいの地域（職場・学校を除く）において、誰かと一緒に食事をするのはどのくらいありますか。



◆評価指標（案）

評価指標	現状値	目標値	目標値の考え方
地域等で共食している者の割合	26.6% (R5)	31.9% (R10)	国の指標と同様に「地域等で共食している者の割合」を、「地域」での共食頻度が「年1回以上」と回答した者の割合とし、目標値を国の進捗に合わせ、 31.9% (令和11年度※2) とする。

※2：評価年度